

## H28.11.1 稲生沢・ひかり保育園合同説明会 概要

日 時 平成 28 年 11 月 1 日（火）午後 3 時から午後 4 時

場 所 稲生沢保育園

出席者 保護者：8 人

市教委：峯岸課長、吉田係長、原主事

### 1 開 会

#### <係 長>

皆様、こんにちは。ただ今から下田市総合教育会議報告書稲生沢保育園・ひかり保育園合同説明会を開会します。私は下田市教育委員会学校教育課学校教育係長の吉田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、続きまして峯岸学校教育課長より挨拶を申し上げます。

### 2 学校教育課長挨拶

#### <課 長>

— 学校教育課長挨拶 —

### 3 報告書概要説明

#### <係 長>

ありがとうございました。それでは早速、報告書の概要説明に入らせていただきます。

#### <事務局>

— 報告書概要説明 —

### 4 質 疑

#### <係 長>

それでは質疑に入らせていただきます。いろいろなご意見を伺わせていただきたいと思いますので、ぜひともご発言いただきますようよろしくお願いします。ご意見のある方は、挙手をお願いします。

#### <保護者(女性)>

今回の説明会は、総合教育会議と示した方向性についての意見を確認するためのものですか。またこの方向性についてですが、一校化することは既に決まっていることなのですか。

#### <課 長>

市としてはあくまでも方向性を示させていただいたということになります。これから一校化に向けて、どのような課題があるのかという様々なご意見をいただきたいという目的で、今回の説明会を開催させていただいております。

#### <保護者(女性)>

今回、アンケート結果からも反対やどちらとも言えないと回答している方が多いのに、下田市総合教育会議として、一校化で行く方向性を示したということですか。

#### <課 長>

アンケートにつきましては、小中保護者及び教職員の方に対し実施させていただき、再編に賛成

という意見は 51%、反対 12%、どちらとも言えない 37%という結果でした。そのうち、どちらとも言えないと回答した方の理由を確認したところ、通学に対する不安というものが一番理由として多い結果でした。その通学に対する不安をクリアすれば、一校化することが一番子どもたちにとってより良く学習環境が改善されるということで、今回の方向性を示させていただいたこととなります。確かに 8 年前に稲梓中と稲生沢中を統合しようと進めていましたが、地域の方などから統合に反対という動きとなり、統合を見送った経過がありました。そういったことも踏まえまして、今回は、様々な方からのご意見を頂きながら、中学校再編について、ある程度時間がかかったとしても進めさせていただきたいということで、本日の説明会を開催させていただいております。

#### <保護者(女性)>

これから実際にその統合された中学校に通学する世代に対して、アンケートを実施しますか。

#### <事務局>

説明会后に、保護者の皆様を対象としましたアンケートを実施させていただく予定です。

#### <保護者(女性)>

この方向性というのは、決定したことなのかどうか、よくわからないのですが。

#### <事務局>

あくまでも総合教育会議としての方向性という形で、示していかないと今後協議を行うにしても先に進めることが困難になるだろうということで、協議した結果、今回の方向性ということで皆様に提示をさせていただいております。

#### <課長>

実際に新中学校に通学する世代に対するアンケートにつきましては、下田市立中学校再編検討会議という市内の全小中学校長、PTA会長、6地区の区長会長さんが委員となっている会議において、協議した結果、実施させていただくという形になっております。併せて、説明会につきましても今日の稲生沢・ひかり保育園の他にも認定こども園、下田幼稚園、下田保育所においても開催させていただきます。

#### <保護者(女性)>

3点ほど質問させていただきたいです。1つ目は、総合教育会議のメンバーはどういった方々で話し合われているのですか。2つ目は単学級編成の学校において少人数による支障が教育活動に生じてくる場合と記載しておりますが、今の段階でどういった問題が出てきているのですか。3つ目は学級数のところで学校教育法施行規則として昭和 22 年 5 月ととても古いと思いますが、その内容で良いのですか。

#### <課長>

総合教育会議のメンバーについてですが、市長、教育長、教育委員 4 人の計 6 人となります。教育委員の方につきましては、市内の中学校区ごとに委員がおりまして、学校の先生のOBの方や実際に小中学校に通学されているお子さんをお持ちの保護者の方をお願いをしております。これとは別に下田市立学校等再編整備審議会という組織がありますが、これは様々な方をお願いをしております。学校長やPTA会長、地域代表として区長、市民代表など、多くの方に委員をお願いしております。2点目につきましては、ただ今の内容につきましては、前回の答申内容なのですが、説明資料の 32、33 ページをお願いします。小規模化、大規模化のメリット・デメリットについて記載させていただいておりますが、具体的にお話しをさせていただきますが、稲梓中においては、1学年に1学級しかありません。下田中はまだ複数クラスがあり、下田東中は3年生が2クラスで他

は1クラスという状況になっております。教育委員の方がおっしゃっているのですが、少ないクラスの場合、小学校1年生から中学校3年生まで同じクラスメイトでいきますとクラスの中である程度、形が決まってしまう、例えば運動が得意な子はこの子、勉強のできる子はこの子などとなってしまい、競争することがなくなってしまう。大きな学校になりますと、そこで競争、またクラス替えなどができるため、中学を卒業し、その後の高校や大学、社会に出たときに相当な影響は少なからずあるだろうとおっしゃっておりました。また部活の面でも少ない生徒数になりますと選択できなくなってしまうことや、先生の配置という面についても選任の先生を配置することが難しくなるという現状があります。確かに、小規模であれば一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導ができるというメリットはありますが、競争という面では教育委員会としては懸念があるだろうと考えております。

#### <事務局>

3点目の学級数の基準が古いのではないかという点についてですが、こちらは資料に記載する際に法令等につきましては、最初に施行された年月日を記載するということになっておりまして、このような記載方法とさせていただきます。内容につきましては、学級数は12学級から18学級というものは現在も生きておりますのでよろしくお願いいたします。

#### <課長>

別件になりますが、先ほど中学校への通学の距離と時間の部分の説明をさせていただきましたが、距離の6kmという基準は昭和33年に施行された基準になります。

#### <事務局>

その6kmという基準は生きているのですが、その後、国では通学するための交通手段などが整備されていることを条件とした形でおおむね1時間というものも手引において示しているという形になっており、現在は距離や時間が合わさったものとなっております。

#### <保護者(女性)>

なぜこの質問をさせていただいたのかと言いますと報告書におきまして、学級数がメインで書かれており、これは今後少子化が進むことにより、統合したとしても更に学級数は少なくなってきてしまうと思っています。そういう状況であるならば、もっと教育に対しての予算を使っていたきたいという思いがあるのですが。

#### <課長>

まず最初に言いますが、例えば4校が1校になることにより、行革の一環で中学校再編を考えている訳では絶対ありません。教育委員会としては、子どもの教育環境を良くするために現在再編に取り組んでいます。予算的な部分の話ですが、下田市はここら辺では低い状況となっております。しかし、今回の再編につきましては、先の話になりますが、校舎につきましても、今ある校舎をそのまま使えば良いではないかということではなく、しっかりとした新築の校舎建設をするか、改築の場合となった場合でも、今ある校舎を大改修して、ある程度グレードを上げる形で子どもたちを迎えてあげるといったことは考えていかなければならないと感じております。

#### <保護者(男性)>

以前、下田北高と南高が統合し、南高跡地に現在の下田メディカルセンターが建設されました。今回、1校化になると残る3校の跡地の利用はどのように検討されているのか伺いたい。

#### <課長>

子どもの学習環境を良くすることを目的に再編を考えている際に、跡地利用のことを検討するこ

とは、もう少し先のある程度、再編内容が固まった後に検討すべきものだと考えております。例えば、学校跡地に庁舎を建てれば良いなどというご意見もいただきますが、まずは子どもたちの学習環境を良くすることを先に検討すべきものだと教育委員会は考えております。よく学校がなくなることからコミュニティが低下するというとも言われておりますが、そういったことにつきましては、当然今後、学校再編内容が固まった後に、下田市として地域の方々と検討していくべきものだと認識しております。例えば、田牛などでは青少年海の家というかつて登自小学校だった施設が残っておりますが、そこでは田牛地区の教育旅行の受け入れのための集会場として広場が活用されていたり、加増野ではポーレポーレという施設がありますが、これは加増野小学校跡地に体験施設を建設し、地域で活用しております。

#### **<保護者(女性)>**

通学のことで、公共交通機関を使用することで検討されておりますが、スクールバスなどの検討はされないのですが。

#### **<課 長>**

現時点で試算させていただいたのは公共交通機関の場合になります。当然、今後のご意見などからスクールバスなどの検討もさせていただきたいと考えております。今回、試算をさせていただいた理由といたしましては、先ほどからもありまして、通学に対する不安が多いということで参考資料として掲載をさせていただいております。市の通学費に関する補助制度について少し説明させていただきますが、中学生については6km以上の生徒に通学定期の半額を補助金として交付しております。よって、保護者の方は半額負担していただいているという状況になります。今後、中学校が1校化になりますとその費用がより多くなってしまいます。そういった通学費用的な資料として、今回の資料をつけさせていただきました。ただ今、ご質問頂きましたスクールバスなどについても、今後、一つの選択肢として検討をさせていただきたいと考えております。

#### **<係 長>**

今回、なぜ公共交通機関で試算をさせていただいたのかと言いますと、中学生の年代になりますとある程度、社会性という部分も必要であると考えており、その一環として公共交通機関を想定させていただきました。また、現在、人口減が進んでいる中で、地域のお年寄りなどが乗る公共交通機関というものが今後成り立たなくなる可能性もあり、そういった公共交通を維持継続させるためにも今回の試算をさせていただいたという経緯もあります。今後は、スクールバスの検討も当然行いますが、地域の実情に応じた形で検討させていただきたいと考えております。

#### **<保護者(女性)>**

資料 48 ページですが、「以下の結論に至りました。」と記載されておりますが、この書き方ですと既に決定されたことだと勘違いをされ、何か結論ありきではないかと思えます。前回の統合についても、地域の方が知らないという状況の中で進められていたという経過があると思われ、今回の中学校再編についても、実際統合される世代の保護者の方は何も知らなかったということをよく聞きます。アンケートについても、現在小中学校に通っている保護者対象のアンケート内容に基づき、方向性が決められていて、事前に統合される世代の保護者の方にも聞いて欲しかったと思えます。結局、今の小中学校の保護者の方は関係ないと思えます。統合される世代の保護者の方は、寝耳に水という状況だと思います。また、今回の説明会の参加者についても少なく、時間帯についても悪いのではないかと思います。

### <課 長>

情報が流れてきていないということやアンケートなどについても小中学校対象に行いましたが、統合される世代の保護者対象のアンケートについても後出しになってしまったことにつきまして、まさに反省すべきことだと考えております。8年前の統合の協議が流れてしまったことを知っている私自身も、より丁寧に行わなければならないと感じておりましたが、ただ今頂いたご意見のように市はもっと慎重に行わなければならないと改めて認識をさせていただきました。本当にありがとうございます。また、書き方につきましては、あくまでも方向性を示した中での結論に至ったという内容ですので、今、様々な方からご意見をいただいているという状況になります。情報提供の関係ですと9月広報に、また報告書概要版につきましても幼保こども園学校等を通じ、全ての保護者の方に配布をさせていただいております。また、説明会の参加者が少ないという対応としましては、本日の資料を全ての統合される世代の保護者の方全てに届くよう配布させていただきたいと考えております。

### <係 長>

説明会につきましては、中学校区においても夜に開催させていただいており、こちらに参加していただいても構いませんので、ぜひともご参加いただければと考えております。

### <保護者(女性)>

「結論に至りました」という文言を変更した方が良いのではないのですか。また、報告ではなく、検討という形にすれば良いのではないのですか。

### <課 長>

確かにこの「結論に至りました」という表現は、誤った印象を与えかねないので、資料説明の仕方も含めて、検討させていただきます。あくまでも現時点におきましては、方向性を示したもので決定事項ではありませんのでご理解いただきますようお願いいたします。

### <保護者(女性)>

資料を配布するということでしたが、この厚い資料を子育てが忙しいお母さんたちに渡されても絶対に見ないと思われそうですので、もう少し要点を絞った形のものを配布した方が良いのではないのでしょうか。

### <係 長>

この部分につきましては、賛否両論がございまして、もっと細かいものを提示していただきたいという保護者の方もおられるので今回の資料を作成させていただきました。教育委員会としましては、できる限り細かい資料を配布させていただき、情報提供をさせていただいております。

### <保護者(女性)>

資料が欲しい保護者の方に提供する形で良いのではないのでしょうか。

### <係 長>

当初、報告書と説明資料を全部配布させていただく予定でしたが、園と協議させていただき、園に設置させていただき自由に持っていつでももらえる状況を整えるか、検討させていただきます。

### <課 長>

いずれにしても、報告書の要点を絞った概要版というものは全ての保護者の方に配布させていただいております。配布してもまず見ていただくという部分が大切だと思いますので、そういった部分を検討させていただきたいと思います。

### <保護者(女性)>

今回の説明会は、活発に意見を言うことにより、これまで決まったことについて覆るようなことができるのですか。もしくはそうではないのですか。「結論に至りました」というような表現だとなかなか、意見や問題が出てこないようなものになるのではないかと思います。

#### **<課 長>**

スケジュールなどにも記載させていただいておりますが、説明会につきましては要望により、開催をさせていただきます。今、このような説明会を開催させていただいているのですが、市内6地区で開催します市長と語る会をメインで開催させていただき、その後、中学校学区単位での保護者説明会、そして、未就学児保護者のため、ここの稲生沢・ひかり保育園をはじめ、認定こども園、下田幼稚園、下田保育所での説明会、また説明会とは別にご意見を伺う場としまして、下田市立中学校再編検討会議、メンバーは校長先生、PTA会長さん、区長さんで構成しておりますが、その会議を設置し、様々なご意見を伺っております。

#### **<保護者(女性)>**

実際に今回開催されて、今日の人数についてどう思われましたか。

#### **<課 長>**

かなり心配はしておりましたが、実は稲梓中学校区の説明会も少ない人数でした。実際問題として、中学生しかお子さんがいない保護者の方は、結果から言えば、もう関係ないという判断をしているのではないかと考えております。そういった部分も踏まえた中で、今回、未就学児の世代を対象としました説明会を開催させていただいているという部分につきましては、ご理解をいただきますようお願いいたします。

#### **<保護者(女性)>**

再編するにあたって、一番重要であるのが通学補助に関する事だと思われまます。資料の中で関係各所と記載しておりますが、これは具体的にどこと協議するのですか。また、田牛地区の小学生には通学補助が出ているが、碁石ヶ浜に住んでいる田牛地番の子どもたちには補助が出ていないということを知っております。この部分についても教えていただきたいのですが。

#### **<課 長>**

数的に言いますと、中学校全体で通学補助として440万円くらい出しております。仮に稲生沢か下田に再編した場合、全額補助ですと現在の10倍の4,000万から6,000万円くらいになります。庁内におきましては、企画財政課という部署があり、教育予算をもっとつけることができれば良いのですが、市の全体の財政状況を鑑みながら、検討をしていかなければなりません。また、小学生補助につきましては、4km以上に全額補助をしておりますが、例外がありまして、過去に学校統合を行った地区につきましては、距離制限がなく、補助金を交付しております。

#### **<係 長>**

田牛地区につきましては、かつて朝日小学校へ統合した際に、4kmの距離制限を外しております。碁石ヶ浜につきましては、学校統合後に分譲地が開発されましたので、地番が田牛であったとしても4km未満ですので、現在は補助を出していないという状況になっております。

#### **<課 長>**

関係各所についてですが、先ほど説明しましたのは役所内のことですが、これとは別に今後、再編協議が進むにつれて、学校関係者、PTA関係者などで構成する統合準備委員会というものを立ち上げます。通学のこともそうですが、学校名や校歌、制服など様々なことを協議させていただき、決定をしていきます。

### <保護者(女性)>

通学の補助については、統合が決まった後に検討するというスタンスではなく、ある程度、こういった補助をするからということで「どちらとも言えない」と回答している保護者が賛成に移るのではないかと思うのですが。

### <課長>

現在の補助制度のまま再編すれば、ほとんどの保護者の負担は増えることは確実にあります。教育委員会としましても、そのままでは理解は得られないと判断しております。全額補助も含め、保護者の負担を増やさない形で検討をさせていただきたいと考えております。

### <保護者(女性)>

今、人口減少が言われておりますが、子育ての手厚いところには人が集まると思います。また、行政というのは大きな力を感じており、決定してしまうとなかなかそれを覆すことは難しくなります。そういった部分を十分理解していただいた上、慎重に進めていただきたいです。

### <課長>

ありがとうございます。多少時間がかかったとしても、ご意見をいただきながらより良い方向へ持っていきたいと考えております。認定こども園は統合されましたが、子どもを各地区で見てもらいたい保護者の方はおられたかもしれません。今回、こういったご意見をいただくということは、中学校再編について、より慎重に進めていかなければならないと認識しております。

### <保護者(女性)>

こども園については、通園バスについての問題が一番大きかったと思います。また小耳に挟んだんですが、そのバスも最初だけ運行して、しばらくしたら廃止するという情報もあります。白浜地区の人たちなどは、幼保と中学校は違いますが、統合という部分では同じだと思いますので、通学というものは重要だと思います。

### <課長>

通園バスを廃止するというのは、こちらも初耳です。子育ての手厚いところに人が逃げってしまうということですが、西伊豆町では給食費などを無料にしましたが、そういったところでしょうか。

### <保護者(女性)>

函南町が子育てをしやすいまちということで、人が集まり、出生率なども上がっていると聞いています。下田をそういった状況にさせていただきたいです。

### <課長>

当然、目標にはさせていただきたいと考えております。

### <保護者(女性)>

伊豆縦貫道についても、父兄の皆さんに署名を頂いたんですが、全然意見が反映されず、もう決まったことのように進んでいる状況が見られます。

### <課長>

確かに縦貫道については国が進めている事業なのですが、やはりご意見を出すことは出来ませんが、原発の問題のように大きな動きの中で…。

### <保護者(女性)>

今回の中学校に関しても、ご意見を聞くと言っていますが、どれくらい反映されるのかという思いがあります。アンケート結果などを見ても、「どちらとも言えない」の回答が4割弱おります。この4割弱の人が賛成なのか反対なのかによって、大きく変わってくると思いますし、逆に決める

ことができないということは、先ほどの質問と同じような形で決めるための条件が整っていないからということだと思われます。

#### <課長>

今回のアンケートを作成したのは、実は私でして、作成した頃は、稲梓と稲生沢を先に統合した方が良いのではないかという意見がありまして、そういった方々のご意見を伺うために実施しました。設問についても、あまり条件を与えずにどう思いますかという問いを単刀直入にさせていただき、答えていただいた方より正確な数値が出るだろうという考えで設定しました。「どちらとも言えない」と回答している方のご意見も伺っているのですが、中にはメリット・デメリットがわからないからどちらとも言えないという回答したという方もおりました。そのようなご意見をもとに、そういった部分を解決しながら進めていけば、再編に賛成になるか反対になるかわかりませんが、今回の報告書や説明資料を作成させていただきました。

#### <保護者(女性)>

「どちらとも言えない」と回答している割合が4割弱あるのに、どんどん進めていく手法に何か納得できない部分があります。アンケートとして、「どちらとも言えない」と回答した方のご意見をチェックしてから吸い上げたのか、そうではなくフリー回答で吸い上げたのかによって、かなり違うと思いますが。

#### <課長>

設問としては、「賛成」「反対」「どちらとも言えない」の選択肢があり、その次にその回答に至った理由として意見欄を設けましたので、意見としては、「どちらとも言えない」と回答された方のご意見をまとめさせていただいております。よって、理由欄のご意見については正確なものが表れていると考えております。結果を見るとやはり通学について何も示されていないから、どちらとも言えないんだという回答をされた方が多かったと判断しております。

#### <保護者(女性)>

アンケートについては、私たちにも行って欲しいと思います。

#### <課長>

今回、アンケートは実施させていただきますが、少し内容が異なっておりまして、より具体的な内容を含めたものになっております。

#### <事務局>

内容につきましては、今回、方向性として稲生沢中と下田中を示させていただいておりますのでそのどちらが良いかという設問、通学補助の問題で具体的にどういったことを希望されますかという設問、新中学校にどういったことを希望されますかという設問、その他フリー回答欄も設けており、再編に反対であるという方はそちらにご記入いただければと考えております。

#### <保護者(女性)>

そのアンケートをとる際に「結論に達しました」という表現は避けてもらいたいです。色々と細かいことまで、申し訳ないです。

#### <課長>

決して、そんなことはないです。こういったご意見をいただくために説明会を開催させていただいておりますので、本当に貴重なご意見、ありがとうございます。

#### <保護者(女性)>

私は本郷地区に住んでいるため、通学問題についても候補地についても、稲生沢になっても下田



になっても、結論とすれば、生徒数が増えればありがたいと思います。今、お話を聞きながら、遠方の人たちは、通学費が大変なんだなと感じました。そういった中で、稲生沢なのか下田なのかということを安易に決めることができないという部分もあります。こういった説明会や資料を見て、初めて通学補助について理解するという部分もあり、「どちらとも言えない」と回答している中にはこういった中間地点の方も必ずいると思います。再編には賛成だが、遠方の方のことを考えると「賛成」と回答できず、「どちらとも言えない」と回答している方は多いと思います。アンケートを地域別で調べることができるという点が良いのではないのでしょうか。遠方の方については、反対の回答が多いのではないかと思います。

#### **<課 長>**

地域別という部分ですが、小学校が7校、中学校が4校ありますが、その学校別での割合を示させていただきます。

#### **<事務局>**

アンケート結果を見ますと白浜や浜崎地区につきましては、どちらとも言えないと回答されている割合が一番多くなっております。事務局としては、中学校再編について自分たちはまだ関係ないんだよという認識があるのではないかと、回収率などから見ても平均と比べ低くなっておりますのでそう判断しております。

#### **<保護者(女性)>**

生徒数が増え、友達も増え、部活も選択できて、再編することは賛成ですが、やはり通学問題が一番大きな問題でそこが解決しないとなかなか何とも言えない部分があると思います。

#### **<事務局>**

そういった通学に関する設問につきましても、アンケート項目として設定させていただきましたので、より多くのご意見をいただいた後に、市として検討を進めさせていただきたいと考えております。

#### **<保護者(女性)>**

今回の中学校再編については本当に寝耳に水だったので、アンケートにしても今の小中学校の保護者の方の対象としたもので良いのかという考えがあります。

#### **<事務局>**

教育委員会としましては、今、実際に通学されている保護者の方からのこういったところが不満であるとか、そういった中で今後こういう風にしていったら良いのではないかというご意見も非常に重要であると考えております。

#### **<係 長>**

就学前の保護者の方のご意見につきましても、今回の説明会を開催させていただいたり、アンケートを実施させていただく中で集約をさせていただき、中学校再編について進めていきたいと考えております。

#### **<保護者(女性)>**

中学校の再編に関する周知方法についても、例えば、保護者の方が良くいくところなどに資料を設置するなどの対応をした方がより浸透すると思います。

#### **<課 長>**

ありがとうございます。周知方法についても、今後、参考にさせていただきたいと思います。

## 5 閉 会

---

### <係 長>

それでは、これを持ちまして、稲生沢保育園・ひかり保育園合同説明会を終了させていただきます。皆様におかれましては、お忙しい中、長時間にわたり、お疲れ様でした。